

オフィス恩

ちょっと Chat

社労士事務所オフィス恩 代表 橋本 麻由美 (はっしい)
特定社会保険労務士・キャリアコンサルタント
行動指針作りアドバイザー・承認コミュニケーター
日本褒め言葉カード協会インストラクター
持ち味ファシリテーター
日本ストレスチェック協会ファシリテーター

9月22日は
フィットネスの日



・・・だそうですよ～



難病に罹患しても働き続けてもらうために！

～企業が出来る就労支援のポイント

◆難病患者の「就労」

企業における、難病（治療研究等を国が主導で進めている多種多様な、希少な難治性の疾病）の方に対する就労支援の取組みの普及が進んでいます。医療の進歩によって、難病で治療を続ける人であっても、適切な仕事を選び、職場での理解・配慮を得ることができれば、働くことができるようになってきました。現在、難病患者の半数が就労しており、その数は年々増加傾向にあります。従業員が突然発病することもあり、企業には、就労との両立支援が求められます。

◆難病の特徴

難病は多くの場合、一度発症すると症状の増悪と寛解を繰り返しながら、徐々に病状が悪化していきます。そのため、治療をして回復する、あるいは固定した障害が残ることを前提としている休職制度では、対応ができない場面も出てきます。

また、多くの難病に共通する症状は、全身的な疲れやすさ、体調変動、活力の低下など、外見からはわかりません。そのため周囲の理解が得られず、我慢を重ねた結果、症状が悪化して働き続けることができなくなり、やむなく退職に至ることもあります。



◆難病について調べるときは

次のサイトが便利です。

【難病情報センター】 <https://www.nanbyou.or.jp/>

◆難病患者の就労支援のポイント

こうした特徴を踏まえ、難病患者への具体的な配慮を検討することが大切です。難病の症状は疾患により多種多様であり、それにより生じる「つらさ」も異なります。体調や症状について確認し、無理をしているようであれば就業上の配慮を検討しましょう。「つらさ」を申し出やすい、協力的な職場風土づくりも大切です。

難病患者本人、主治医、産業医、人事担当者、上司が適切に情報交換を行って、同僚の協力も得ながら対応を進めていきましょう。

◆治療と仕事の両立支援ナビ

治療と仕事の両立支援を進める上で役立つ資料・様式がダウンロードできます。⇒右記の2冊も！

<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/download/>

ガイドライン (ピンクの冊子) は、事業場が、がん、脳卒中などの疾病を抱える方々に対して、適切な就業上の措置や治療に対する配慮を行い、治療と仕事が両立できるようにするため、事業場における取組などをまとめたものです。

連携マニュアル (ブルーの冊子) は、具体的な事例を通じて、ガイドライン掲載の様式例(ガイドライン「様式例集」)の記載例を示すものです。



先月のオフィス恩の活動

インタビューを受ける機会がありました。①がんサバイバーとしてのお話(支援団体向け)、②障害年金請求業務に携わる社労士としてのお話(出版社)、③移動先の支部での新入会員紹介(社労士会支部)、この3つが重なりました(笑)

仕事上、いつもはキャリアカウンセリングなどで「聴く」立場ですので、「聴いてもらう」ということがとても新鮮でした。人に話すと自分の考えが整理され、感情とともに思い出すことで、自分が大切にしている「価値観」も浮かび上がってきました。

改めて家族への感謝の気持ち、これまで私と出会ってくださった方々(好きな方も苦手な方も)への感謝の気持ちが湧いてきました。皆様の存在のおかげで、私という人間は成長していくことができるのですね～!!

～ON (オフィス恩) ⇒ OFF (プライベート)～

ついに・・・パソコンを買い替えました!(*^*) 私にとっては大きな買い物ですので、いろいろ調べましたが、どれも一長一短で選択が難しかったです。価格、性能がバランスよく納得できるものはどれか?どうやって優先順位をつけるか?悩みました。お仕事の効率がアップするといいなあ(≥▽≤)

★今月の御朱印★
京都は岩倉にある実相院
(じっそういん)です。
紅葉の時期は紅葉が美しい
庭園で、「床もみじ」と呼ば
れているそうです。
青緑の時期をさして「床み
どり」とも。

では、また来月もよろしく願いいたします!

